

今年度は、調査項目を質問形式で行っているよ。頑張ってね！



介護保険課認定係
平成27年5月1日

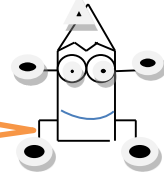
認定調査とつきクン通信 (H27第2号)

(H27年度は評価軸(3軸)「能力・介助の方法・有無」の再確認で通信内容を作成します)

2-1 移乗「介助の方法」

質問

正しければ○・誤っていれば×を選択してね
本人に移乗の能力があるにも関わらず、介助が行われている場合は「常に」不適切な状況と判断して適切な介助の方法を選択する。さあ、どっち？



○

×



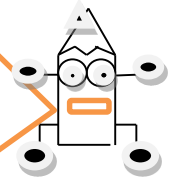
今回は二択ね。簡単だよ。だってテキストに「実際に行われている介助」が対象者にとって「不適切」と調査員が判断した場合には適切な「介助の方法」を選択し…とあるよ。だから○！

本当にそうなのかな？

(解説) 調査員が「実際に行われている介助が不適切」と考える場合には

- ・ 独居や日中独居等による介護者不在の為に適切な介助が提供されていない場合
- ・ 介護放棄、介護抵抗の為に適切な介助が提供されていない場合
- ・ 介護者の心身の状態から介助が提供できない場合
- ・ 介護者による介助が、むしろ本人の自立を阻害しているような場合

などがあるけど適切かどうかの判断は、単に「できるーできない」といった個々の行為の能力のみで評価せず、生活環境や本人の置かれている状態なども含めて、総合的に判断してね。



どういこと？じゃこの場合はできるのに介助されている＝不適切と判断したけど間違なの？



あのね、この項目は「できる」という能力でなく「介助の方法」で判断するよ。確かにケシコちゃんが疑問に思うこともわかるけど、「常に」は間違えだね。だから「×」。但し明らかに不適切と思われたら、特記にその根拠を記載した上で適切な介助の方法を選択してね

